

ぐびろが丘



編集長
山本 直毅 (医学部メディア部)

編集部
長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
☎095-848-5484
E-mail: ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp

印刷
株式会社インテックス

長崎大学附属図書館 医学分館、5月28日(水)リニューアルオープン!!

昨年6月より改修工事が行われていた医学分館が、5月28日にリニューアルオープンしました！新しい医学分館の中はどうなっているの？以前の医学分館と比べてどこが変わったの？気になりますよね！

よく晴れた4月中旬のある日、リニューアルオープンのために鋭意準備中の医学分館 学術情報部 学術情報サービスクラスにお邪魔して、志波原 智美 主査、松村 悠子 さんに、新しく生まれ変わった医学分館について教えていただきました。



新しい医学分館、学生が利用できるのは1階部分と2階部分ですが、そのレイアウトは改修前と大きく変わっています。

閲覧席の他、勉強のために利用できる席数は、合計で300席に増えます！



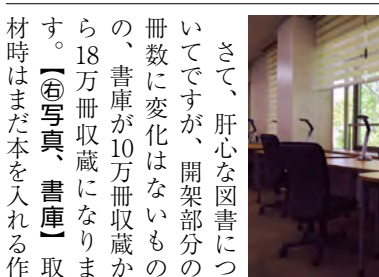
そして、今までなかった新しいスペースがいくつかできています。

ひとつはセミナー室という20名が収容できる部屋で、中規模の会議の利用はもちろん、講習会などもここで開催される予定です。

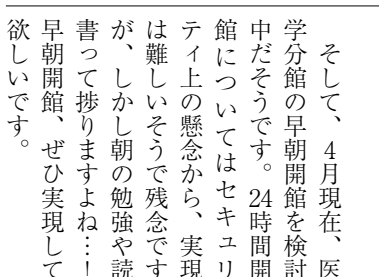
また、以前、入ってすぐのカウンター席にあったPCたちの行方ですが、大きくきれいなパソコン室に置かれることになりました。玄関から入って来た人たちがなんだか気になっちゃった以前よりなっちゃった以前より学習しやすい環境を提示してくれそうです！



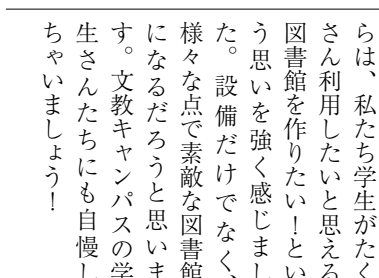
そして、私が一番嬉しいと思ったのが、リラクゼーションコーナーとラーニングコモンズです！フレッシュコーナーでは軽食や飲み物を食べられるようになっています。今まで試験勉強中にお腹が空いてしまったこと、数知れず。これからは小腹が空いたらちよつと休憩してエネルギーチャージ！また頑張ることができそうです。



次に、2階部分。今回新しく、いくつかの閲覧席が導入されました。仕切りのある閲覧席や、ゆったりとした窓際の一人用閲覧席です。仕切りがあると調べ物や勉強に集中しやすいですし、隣同士に座るのも抵抗が少なくなるので助かりますね。



さて、肝心の図書についてですが、開架部分の冊数に変化はないものの、書庫が10万冊収蔵から18万冊収蔵になりました。【写真、書庫】取材時はまだ本を入れる作業の途中でしたが、たくさん本が所狭しと並んだ広い書庫は圧巻でした。今後は学生・医師の要望に、より応えてくれるラインナップが期待できそうです！



そして、4月現在、医学分館の早朝開館を検討中だそうです。24時間開館についてはセキュリティ上の懸念から、実現は難しいそうですが、残念ですが、しかし朝の勉強や読書って捗りますよね！早朝開館、ぜひ実現して欲しいです。



以上、新しい医学分館についてご紹介しました。皆さんの知りたい情報はありましたでしょうか？

今回ご案内いただいた志波原さん、松村さんからは、私たち学生がたくさん利用したいと思う図書館を作りたいという思いを強く感じました。設備だけでなく、様々な面で素敵な図書館になるだろうと思います。文教キャンパスの学生さんたちにも自慢しちゃいましょう！

平成25年度(第25回)ポンペ賞受賞者 進級状況

成績優秀者(学業成績 上位3位)



三高 隼人



藤岡 真知子



渡部 太郎

1年生134名中124名、2年生118名中106名、3年生128名中119名、4年生115名中103名、5年生101名中100名が進級した。

今年度の留年者は44名、休学者は4名、退学者0であった。

あまった野菜でかんたんキツシュ♡



どうでしたか？意外と簡単にできちゃいそうではないですか(*^-^*)？慣れれば下準備に5分とからずに出るようになりますよ！じつはこのお料理、出来立てでも、冷めてもおいしいので、お弁当にもぴったりです！料理に慣れるまでは少し面倒に感じるかもしれませんが、いろいろな料理がつくれるようになれば、すごく楽しくなりますよ！すこすこずつこすこす、練習していきましょうね！お財布にもうれしく二重においしい♡このお料理、ぜひぜひマスターしてみてくださいね！

はじめのレシピシリーズ

♡一人暮らしのお料理♡

「一人暮らしがスタート！」「自炊デビューしてみよう♡」

一年生のみなさん、こころ学おめでとうございませう！そろそろ大学生活にも馴染んでこられた頃でしょうか？さて、中には一人暮らしをはじめて始めた方もいらっしゃるはず！一人暮らしして慣れない内はたいへんですよ。学校やバイト、部活で料理をさぼりがちに...でもそれでは栄養が偏ってしまいます。パパッと簡単にできて、美味しく、しかも栄養ばっちり料理があれば...


ここでは毎日元気な過ごすためにも、「誰でも簡単に♡ぱっぱと♡」できるお料理を紹介いたします！

〇材料 にんじん(5cmほど)、小松菜(1束)、たまご(2玉)、ベーコン(3枚)、牛乳(80ml)、塩こしょう(少々)、お好みで：溶けるチーズ ☆今回の季節の野菜：小松菜

〇作り方

- ①オーブンを180℃に予熱します。
- ②予熱が完了するまでの間で下準備をしていきます。食材を切っちゃいませう！にんじんは薄く細長く。小松菜は根元を捨て、幅約3cmほどに切ります。ベーコンは細かく切りませう♡
- ③ボールにたまごを割り、溶きます。その後、②で切った食材を混ぜます。塩こしょうを加えて味を整えます。
- ④耐熱皿に入れます。(お好みで溶けるチーズをトッピングおすすめ♡)予熱が完了したら、180℃のオーブンで30分焼きます。
- ⑤出来上がり♡♡

〇補足 材料の野菜の分量はあまったので大丈夫ですよ♡少しだけ残っているたまねぎ、ジャガイモなどを加えても、ぱっぱ美味しくていいですよ！
〇α 冷凍パイシートや、市販のパイを下地に使えば、お店に売っているようなものが簡単にできますよ♡ぜひぜひチャレンジしてみてくださいね！



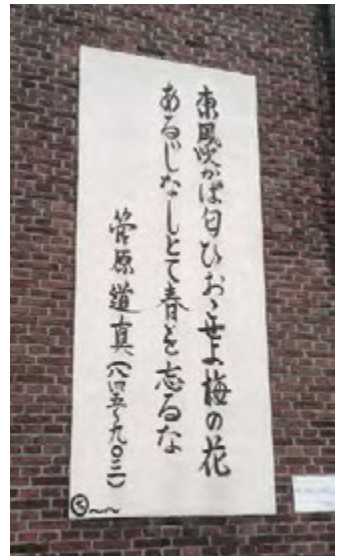
海外リサーチ報告

「ライデン大学での研究と経験と…」

4年 簀田 志帆

オランダのライデン駅を出てすぐに目に入ったのは LUMC (Leiden University Medical Center) と呼ばれる大きな病院。到着して初めて見たオランダの景色が、夜に暖かいライトの光を放つライデン大学病院であったことで、オランダに対する印象が、第一印象からとても暖かいです。

オランダでの生活、文化は日本とは違うことばかりでした。もちろん、それらの多くが私にとってはとても興味深いものでした。オランダの母国語はオランダ語ですが国民のほとんどが英語を話せるのです。小さい子供やホームレスまでもが話すことが出来、英語で道を尋ねると誰に聞いても親切に流暢な英語で答えてくれる国民性。オランダの人々の言語能力の高さ、それが私にとって一番のカルチャーショックでした。そして、ライデン大学には日本学科という学科があり、日本について学んでいる学生が多かったです。彼らは日本語を学び、日本の文化や産業についても学んでいました。そんな彼らに日本語を教える代わりに英語を教えるという Language Exchange という活動をしたことが、私がオランダにいる間の印象に残っている活動のうちの一つです。研究の時間の合間にパートナーと会い、英語でのディスカッションをしたり、日常でよく使う英語表現を教えてもらったり、時には医学英語のクイズをしたりと勉強方法はさまざまでした。一方私が教える際には、日本語を文法的に言語として教えることで日本語を客観的にとらえることができ、討論などでお互い改められることにより、私自身も勉強になることが多かったです。



とはもちろん、さらに医学用語の英語もできるだけ多く知っておくことで、私がオランダで研究を行った際、文献で調べるときも、論文を読むときもコミュニケーションツールは英語しかありませんでした。この環境の中で少しでも研究を進めていくためにはより多くの医学英語の知識を持つておくことが大切だと、切に実感することも多々ありました。

さて、私の研究は「Euthanasia」と「Child」子供の安楽死についてです。日本とは違って、安楽死が合法化されているオランダという国で特に私は子供の安楽死を研究のテーマとして選択しました。子供の安楽死の事例の中で二分



「海外に来て見る、経験すること、戸惑うこと、それらすべてが学習です。今君が研究の方向性を悩んでいることも、英語ばかりでなく皆さんの人に尋ねながら少しずつしか進まないこともそのことすら学習なのです。悩むこと、戸惑うことを知るだけでも君がここに来た価値は十分にある。少しづつでも進むことが大切なのだ。」

この言葉を頂けたとき、私はオランダに来ることができて本当に幸せだと感じ、そして自分ができることはもしかしたらすごく小さいことかもしれないけれど、そんな自分のできることを、今の前の問題を一つ一つ精一杯解決するために努力を惜しまないと決意することが出来ました。ライデン大学には解剖センターの他にも研究者のための多くの施設があり、設備がとても充実している大学だと感じました。

最後に一つの言葉を紹介します。私がオランダに行つてすぐの頃、研究の方向性を決定するのに時間が掛かり、英語にも自信が無く、「私はオランダで何を学び、何をもち帰ることができるだろうか」と悩んでいた時に担当の教授が私にかけた一言です。

海外リサーチ報告

ビュルツブルグ大学でのリサーチ

4年 吉岡 佳子



私は2013年12月6日から約2ヶ月半、ドイツのビュルツブルグ大学でリサーチを行いました。島国で育った私は、ヨーロッパのように国々が隣接する大陸での生活にあこがれ、大学に入学した時から海外リサーチに参加したいと思っていました。ドイツの歴史は古く、変化に富んでいま。また現在のドイツはEUのリーダ的な存在であり、このような国にリサーチで行けたことは、私にとって本当に幸運でした。

ビュルツブルグは、フランクフルトからICEで約1時間半の距離にある、静かな町です。学生証を持っていないとトラム(路面電車)やバスは全額無料で乗ることが出来ます。学生が、自慢のフォルクスワーゲンでかなりのスピードを出して(開店時間間に合うように)40分程かけて私を寮まで送ってくれました。

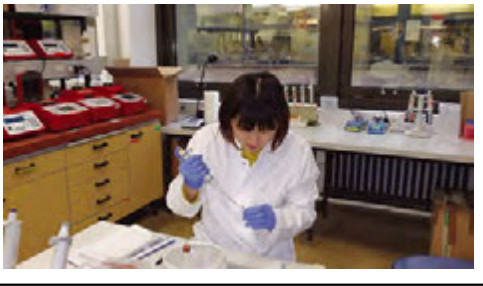
私は、パニック障害を起す原因となり得る遺伝子の研究に参加しました。私が入っていた研究室には、ドイツを始め、ロシア、インドなど様々な国の大学院生がいて、それぞれの言語が飛び交っていました。研究室では週に一度ミーティングがあり、順番でそれぞれの研究成果を発表していました。私は、4歳年上の Yan Yan という北京大学の中国人の女の子と仲良くなりました。彼女は漢方がアルツハイマーに及ぼす作用について研究していました。聡明で明朗活発な彼女からその研究の話聞くことができて、とても楽しかったです。

「This is a Christmas present, if you have enough time, please come to my hamburger shop. You don't have to buy, just come and enjoy. I always welcome to you.」と行って去っていかれました。

リサーチ期間中、私は大学の寮で生活をしました。部屋にはトイレとシャワーはありましたが、台所は共同でした。買い物は30分坂を下ったところにあるスーパーで行きました。魚は、缶詰以外はほとんどありません。肉を買うことになりました。ドイツ語のみの表示のため何の肉かわからず買ったこともありました。お店は夜の8時には閉店するのでそれ以降は買い物できず、コンビニで便利に買い物ができる日本が恋しくなりました。



最後に、印象に残っていることを記述します。1つ目は、電車の車窓から見た風景です。辺り一面にソーラーパネルが並んでいて、その先には風車が回っていました。私は、自分の目でドイツの原子力発電に反対している国だということを確認しました。2つ目は、ペットボトルや瓶をユニークな方法で回収していることです。ペットボトルや瓶に入っている飲み物を購入する時は、その代金より25セント多く支払いますが、回収ボックスへ入れると返金されます。私は硬貨がない時、拾ったペットボトルを回収ボックスに入れ、返金されたお金を



海外リサーチ報告

ビュルツブルグ大学でリサーチを行って

4年 新垣 慶人

私は、昨年の12月から今年の2月までの約2カ月間、ドイツ南部にあるビュルツブルグ大学に留学しました。実際には、ビュルツブルグ大学にあるInstitute for Anatomy and Cell Biology IIのTumor GroupのグループリーダーであるDr. Hentschの下でリサーチを行わせて頂きました。

ドイツでの留学は、自分にとって大きな経験になりました。ドイツでの生活の大部分は、苦勞することでした。スーパーに食材を買いに行くにも、電車に乗るにも、道を聞くにも、明日の集合時間を聞くにも、すべてが自分にとって難しいことばかりでした。やはり、一番大きな問題は、言語の壁でした。ドイツ人の多くはドイツ語訛りはありますが英語を話すことが出来ませんが、私は英語があまり話せないので大変苦勞しました。そしてそのために、多くの人に迷惑をかけてしまいました。特に、研究室では苦勞の連続でした。私は日本でもリサーチの経験がないので、リサーチの知識、技術もほぼありませんでした。それなのに、英語でのリサーチを行うというのは、想像以上に大変なものでした。スーパーバイザーの先生と一緒にリサーチを行った大学院生達が、リサーチについてすべて英語で説明してくれましたが、容易に理解できる内容ではありませんでした。何か分からないことがあったとき英語で質問が伝わらないことや、その返答が理解できなかったりすることが多くありました。何度も日本に帰りたいくらいでしたが、自分に鞭打って、素晴らしいものではないかもしれませんが、一応はリサーチをやりたいと思っていました。数回、コミュニケーションが取れな過ぎ過ぎて、一緒にリサーチしていた大学院生にドイツ語でひどく怒られたこともありましたが、今では良い経験だったと思います。今から考えてみれば、スーパーバイザーの先生と大学院生達とでリサーチ経験もなく



海外交流について意識が高く、尊敬できる人ばかりでした。

ドイツでの留学は、自分の考え、世界を大きく変えてくれました。そして、これからやらなければならないことの発見、自分の夢の再確認を与えてくれました。またこのような機会があれば、必ず挑戦しようと思っております。

海外リサーチ報告

海外リサーチを終えて

3年 川先 孝幸

「おい、外国行こうぜ。」僕が海外リサーチを志願したのは、友達に誘われたのがきっかけでした。当時の僕は、海外に全く興味がなく、ましてや海外リサーチなどは自分とは無縁のものだと思っていました。しかし、日本で見るのと同じく、日本で見るとは異なる街並み、決して食べることのできない料理がありました。中でも、僕たちはクリスマスシーズンというところで、クリスマスマーケットと呼ばれるドイツ伝統の市場が開かれていました。それは、イルミネーションが美しく、グリューワインの香りが漂い、甘いお菓子が並び、五感で楽しめる市場でした。また、大きなビアホールに行ったときは、隣のスイス人が気軽に話しかけてきたかと思ったら、後から来たイタリア人も合流して皆で大騒ぎです。ビールも

ソーセージもおごつてくれました。皆、その日に初めて会った者同士であるというのが驚きでした。すぐ打ち解けて仲良くなるヨーロッパの気風に感動しました。

僕は、いろいろな場所を観光しました。それはドイツにとどまらず、様々なヨーロッパ諸国に及びました。もともと出不性で、観光やら旅行やらに興味のなかった僕でしたが、いざ行ってみると目にするもの、口にするとものに真新しいものばかり、初体験の連続でとても楽しめました。旅行する意味とは何か、と問われたならば、旅行は興味の幅を広げてくれる役割がある、と答えるでしょう。高校時代、退屈で仕方なかった世界史、倫理の授業でしたが、今となつてはその国の歴史や産業、文化を知りたくて仕方ありません。また、キリスト教やユダヤ教などがなぜここまで広がっているのかなどの背景などに興味を湧いてきたのです。海外リサーチ

に行く前までには考えられない変化です。

残念なことに、日本と異なる国はヨーロッパではまだまだ未知の国というイメージがありました。僕は、もともと日本人に海外に行ってもらいたいし、日本の良さを海外の人に知ってもらいたいと思っております。だから、後輩には是非この機会に海外リサーチという挑戦をしていただきたい。たしかに苦勞はしますが、それは日本では体験できない苦勞であり、自分の糧となるものです。それだけ、海外リサーチにはたくさんの魅力がありました。最後にになりました。最後までこの機会をもちますが、この機会をもちます。教授を始め、Hundert博士、楠本先生、田中さん、Moriさんなど関係してくださった全ての皆様にご挨拶を述べたいと思っております。ありがとうございました。

講演会・研究会案内

- 「長崎市臨床内科医会」例会
第273回例会
日時：平成26年7月22日(火) 19:00
場所：ホテルニュー長崎3F
演題：演者…「下痢・便秘―便通異常の見方」
長崎大学 消化器内科准教授 竹島史直
- 第274回例会
日時：平成26年9月30日(火) 19:00
場所：ホテルニュー長崎
演題：演者…「口腔内腫瘍の見方(仮)」
長崎大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 主任教授 高橋 晴雄
- 第275回例会
日時：平成26年10月21日(火) 19:00
場所：ホテルニュー長崎
演題：演者…「COPD(仮)」演者 未定
また、8月19日(火)にはサマーナイトミーティングとして、ジャズピアノリストの小國雅香(おぐにもとか)さんによる演奏があります。時間は19:00、場所はホテルニュー長崎です。
- 右記の例会、サマーナイトミーティングに参加ご希望の場合は、お弁当の準備等のため、事前に左記のぐびろが丘新聞のメールアドレスまでご連絡ください。 gubirogakashinbun@gmail.com
- 第14回全国禁煙推進研究会
「2014世界禁煙デー長崎市民フォーラム」
日時：平成26年6月8日(日) 10:25~16:00
場所：長崎ブリックホール
演題：演者…「日本のたばこ対策の現状(仮題)」
厚生労働省健康局 がん対策・健康増進課 野田博之
【受動喫煙防止条例(仮題)】
参議院議員 松沢成文
- シンポジウムテーマ…
「国際観光都市にふさわしい 国際基準の受動喫煙防止を」
―医学とタバコ伝来の地長崎から禁煙の動きを―
主催：第14回全国記念推進研究会
共催：厚生労働省、長崎県、長崎市、長崎県医師会、長崎県歯科医師会、長崎県薬剤師会、長崎県看護協会
- 第35回長崎県北緯和医療研究会講演会
日時：平成26年6月13日(金) 19:00~20:30
場所：アルカス佐世保
演題：演者…「人をケアするという生き方」
淀川キリスト教病院 ホスピス
こどもホスピス病院 副院長 池永昌之
参加費…2000円
共催：長崎県北緯和医療研究会、塩野義製薬
後援：佐世保市医師会、佐世保地区病院薬剤師会、佐世保市薬剤師会、長崎県看護協会、長崎県北緯和医療研究会、長崎県薬剤師会、長崎県看護協会

サークル紹介

新入生の皆さん合格おめでとうございます！これから始まる大学生活。それは自由であり、青春でありそして社会へ出るための準備の期間でもあります。バイトに明け暮れてお金を貯めるもよし、気の合う友人を見つけて遊びまくるもよし、恋人との甘い生活を送るもよし。「自分のやりたいことを思い切り出来る」時期というのはこの大学生活の6年間だけでいい。

その大学生活を決める最重要ファクターと言ってもいいのが部活・サークル選びだと思います。大学内にはいろいろな部活・サークルがあり入学当初はこれでもかというほど勧誘を受けるでしょう。とにかくいろんなチラシを渡され怖そうな人たちに怒涛のごく詰り寄られ…といった経験をしたいと思います。もちろんどの団体も自分たちの団体に入りたいためにそうするわけですが、その勧誘の一生懸命さが部活の一生懸命さである！といえるわけです。したがって、新入生であれば間違いなくラグビー部の勧誘を一度は受けるはず。まずは新歓イベントなどを通してラグビー部の雰囲気を感じてください。

「大学まで来て部活なんてメンドクさい。」「熱血そうで嫌。」と思っているかも知れません。

しかし！もし、あなたが多くの部活・サークルの中からラグビー部を選んでくれたら、私たちは後悔させない自信があります！…もちろん練習が辛い時もあります。くじけそうになる時もあります。しかし、それ乗り越え、仲間と同じ時間を過ごすことで、そして勝利の喜びを分かち合うことで…！平穏な大学生活を送っているだけでは得られないものがあるのです。それは一生を通じての宝物になるかけがえのないものであり、社会に出る上でのあなたの礎となっていくものなのです。

ラグビー部はたくさんOB・OGに支えられて続いている歴史の長い部活です。練習は週4日・2時間強で、月・火・金16:30~19:00で行っています。場所は坂本

ラグビー部

キャンパスグラウンドです。ぜひお友達を誘って見学に来て下さい。マネージャーさんも募集中です。(連絡先… nunedric@gmail.com) (ラグビーについて) ●「大きな体の人しかできない」は誤解です！9種のポジションを有する適材適所のスポーツです。足が速い、タックルが強い、パスが上手い、キックができる…求められることは人それぞれ違います。 ●初心者からでも基礎から分かりやすく教えます！ ●重篤な怪我だけはしないように気を付けています。正しい姿勢が身につくまで、初心者には公式戦には出さないなどの対策を徹底しています。詳しくは部の公式ホームページをご覧ください。



「熱血そうで嫌。」と思っているかも知れません。

研究室&医局紹介

病態病理部

今回のこのコーナーでは、長崎大学の知られざる(?)医局や研究室を紹介したいと思います。記念すべき第一回は病態病理学講座！病理医と言われてピンと来る新入生は比較的少ないのではないかと思います、取り上げさせていただきますことにしました。

さて、私が病態病理学教室の紹介をさせていただいてもよいのですが、新入生向けの原稿を依頼した先生方が病態病理学講座とはどんな講座かを語ってくださいているので、このあたりで教授と、二人の病理の先生からのコメントに移りたいと思います。



福岡教授からのコメント

皆さんこんにちは。病理学講座、病理診断科の福岡順也です。

今回は我々病理の特集をしてもらえというところ、喜んでいきます。病理診断科という聞きなれない診療科は、現在皆さんの中ではあまり自分事として響かないマイナーな分野と感じられるかと推測しますが、将来に向けて注目する価値の有る診療科の一つです。まず、臨床医だつて言うことを強く認識してください。

い。特に、我々長崎大学の病理診断科は、世界No1のラボを本気で目指すところとして「戦うチーム」なので、是非とも注目して欲しい。キーワードは夢、挑戦、教育、グローバル、そしてエンジョイ！です。

(福岡順也)

福岡先生、熱いメッセージをありがとうございます。続いて病理学講座にいらつしやるお二人の先生方のコメントにうつります。

加島先生からのコメント

入学当初、私は地域医療・総合診療などに興味があり、将来は僻地で働いてみたいなどと考えていました。しかし、卒業時には病理医としての道を歩む決意を固めていました。(まるで反対方向！)。皆さん、医師としての働き方のベクトルは無数にあります。あなたが心に抱くベクトルは6年間に会う人々や経験によってダイナミックに変化を遂げる可能性ががあります。それは人生を迷って医者がいたの？と思っているあなたが、8年くらいたって、私と一緒に働くことになっていたら、いいねえ！

(加島志郎)

田中先生からのコメント

病理医という職業を知っているだろうか。医という言葉がつかからは医師であろうと想像はつくだろう。しかし、医師や一部の医療関係者でなければ、病理医の仕事については知られていないといっているだろう。病理医の仕事は、大雑把に言つて、3つある。①病理診断、②病理解剖、③研究、である。

まず、病理診断とは何か。ドラマなどで、医師が患者さんに良性か悪性かと告知する場面を見たことがあるだろう。患者さんの運命が決定されるドキドキする、あの場面だ。では、いったい、その良性とか悪性って、誰が判断しているのだろうか。それこそが病理医の仕事である。患者さんから体の一部(ごく一部です)を切り取つて、病理医が顕微鏡で観察し、良悪を判断するのである。良性か悪性かで、患者の治療方針が全く異なってしまうため、医療において、大変重要な部分

を担っているのだ。

次に病理解剖。解剖というと大変生々しい仕事ではあるが、医療を高いレベルに維持するために必要な仕事なのだ。患者さんは生前に、病気の診断を下されている。しかし、その診断が本当に正しかったかどうかは、患者さんが亡くなった後で解剖し、検証してみないと実際にはわからない場合も多くあるわけだ。だから、我々病理医は解剖の結果を現場にフィードバックし、一緒にディスカッションする。それが医療レベルの維持に必要なのだ。

最後に研究。病理医の半数近くは研究に携わっている。病気の原因・本態を明らかにし、その疾患を患う多くの人々を救う大切な仕事だ。

以上、病理医の仕事を簡単に紹介したが、当教室では、学生の教育は当然のこととして、まさに、この病理医の仕事を行っているのだ。特に当教室では、肺、腎臓、食道に焦点を当てて診断・研究を行っている。その中でも肺の病理に関しては、日本をリードする位置にいる。また、海外との繋がりが多数有しており、海外での学会発表や留学、論文執筆を積極的にしている。もちろん、学生の海外派遣や短期留学も積極的に行っている。それと同時に世界で通用する人材、つまり次世代のリーダーの育成のため、週に1日は完全に英語でのコミュニケーション・ディスカッションを行っている。最初は英語がほとんど話せなかった何人もの学生が、積極的に海外の専門家とディスカッションできるようになって卒業していった。

当、病態病理学講座について簡単に述べたが、どんなところかイメージしてもらえただろうか。研究や留学に興味のある学生は、いつでも訪問してほしい。

(田中伴典)

以上、病態病理学・病理診断学講座の先生方からのメッセージでした。教室にはユニークな方が多いので、見学に行くことを歓迎してもらえますよ。新入生の皆さん、これを機に病理とは何ぞや？と興味を持っていただけると幸いです。

(文責：梅原)



編集後記

4月より学友会広報部長に就任致しました。

これからの学生新聞では学生が気になるトピックスを伝え、また学生の生の声を伝えることのできるよう新聞を作っていきたいと考えています。

今後ともグビロが丘新聞をよろしくお願ひします！

(松本 学)

久しぶりの新聞づくり、今回はみんなでアイデアを出し合い、手分けして取材をしました。これから少しずつ新しいコンテンツに挑戦していけたらと思っています！お楽しみに！

(市川宏美)

新聞作りに初めて携わりました、梅原です。自分のアイデアが記事になって、感動もひとしおです。今後も新聞作りを頑張っていきたいと思ひます。

(梅原玲菜)

今回の新聞制作には携わってないのですが次回からはみんなで協力して新聞作りに参加したいと思ひます！

(野本和宏)

はじめまして！今回から料理コーナーを担当させていただきます。みなさんに美味しいお料理、すてきな情報をお届けしていきたいと思ひます！よろしくお願ひします！

(和田澄華)

はじめまして！次回から新聞製作に参加します*みんなが楽しんで読めるような記事を書いていきたいと思ひます！

(荻野恵梨)

新聞作り初心者です。初心者なりに読者目線で楽しい新聞づくりに励みます！次号からよろしくお願ひします。

(山本侑季)